

サクセスストーリー 事例報告

事例 ライオンズクラブ国際協会 336 - A 地区

(高松東)ライオンズクラブ

会 長 L (武田 康裕)

テーマ 「 賛助会員がクラブを救った! 」

ポイント

1. 課題の発見 (クラブの課題)

会員維持・会員増強が上手く言っていない。または、クラブ事業が充実していない。クラブ会員に以前より元気が無い等、課題を書き出してみましょう。

- ・ 結成 50 周年記念式典を目前に意見の相違よって期首の半数が退会してしまった。
- ・ 事務所家賃や事務職員の人件費が支払えない。
- ・ 継続事業も満足に出来ない。

2. 課題解決へ向けた活動と計画 (アクション)

課題についてどう考えて目標や計画を立てましたか?

- ・ クラブの課題について皆で話し合いを持った。
- ・ メンバーから事務所を無償で提供してもらった。
- ・ 事務局員の給与を引き下げた。
- ・ 会員増強の具体的な目標を設定した。
- ・ 目標達成のための具体的な方法を検討し、賛助会員制度の活用を決めた。
- ・ 地域社会にライオンズクラブの活動を知ってもらうため、月会費を 3000 円として窓口を広げた。
- ・ 賛助会員として入会した会員にクラブの活動を更に理解してもらえるよう、クラブの歴史や 賛助会員の軌跡などについて例会後に話をする時間を設けた。

3. 実行した結果、どんな成果が出たのか (インパクト)

計画は順調に推移しましたか? 課題が解決されてどの様な成果が出ていますか?

- ・ 2016 年に賛助会員制度を導入し、3 年間で 56 名の賛助会員が入会し、内 10 名が正会員に移 行。
- ・ 女性会員が 11 名増加。 ・ 例会出席率が良くなった。以前は 15 名程度だったが現在は 30 名程度に倍増し、明るく・楽 しく・賑やかな例会ができています。
- ・ クラブ役員の若返りができた。今期会長 45 歳、幹事・会計 42 歳。
- ・ 4 年前のクラブ会員平均年齢が 70 歳代だったが、今期は 50 歳代と 20 歳ほど若返った。
- ・ 新規事業が増えた。(例)・・・子供支援、月 1 回の介護施設慰問を開始。 ・ 会員数が増加した為、チャリティー講演会などを実施し、事業資金 50 万円を獲得した。
- ・ 40 年前よりの献眼等、四献運動に対し、特にこの 3 年間、賛助・家族会員と一緒に啓蒙活動 を活発に実施した (30 か所)。その結果、本年 10 月 19 日に第 21 回臓器移植推進国民大会 (青森県)において、厚生労働大臣感謝状を受賞。・ 賛助会員として多くの会員が入ったことで、クラブの活力が向上した。

サクセスストーリー

「ライオンズクラブに入会した目的は何ですか？」いま何をしていますか？高松東ライオンズクラブは、高松ライオンズクラブのスポンサーで1965年に結成し、高松葵LC・高松南LC・高松西LC・直島LC・八栗LCをエクステンションしました。現在水戸東LC・ソウル永東LC・下関東LCの3クラブと姉妹提携しています。また、1988年L石橋忠夫を第35回地区ガバナーに選出したクラブですが、「晴天の霹靂」結成50周年記念式典を目前に意見の相違によって、9名の方が退会、その影響で6月末には期首の半分の会員数になってしまいました。

この件について、先輩からご意見をいただきました。ライオンズ歴49年、L久米穂積よりライオンズクラブの運営は「ライオンズ必携」が大事だが、それよりも大切なものは他人に対する「気遣い」と「思いやり」です。又、ライオンズ歴48年、L永井國幸からは、「仲良きことは美しき哉、私の大好きな言葉です。」ライオンズクラブメンバーは「仲良くしましょう、このことが一番です。」と言われました。

解散か？

正会員21名ではクラブ運営はむずかしい。事務所の家賃・事務員の給料が払えない継続事業も満足に出来ない。このことについて皆で話し合った結果、「子供達の笑顔の為、困っている人々の為」に存続することになりました。事務所についてはメンバーより無償で貸していただき事務員の給与も年間100万円に下げました。

会員増強

仲間が少ないと奉仕が出来ません。同じ「志」を持った仲間が必要です。そこで、目標を設定しました。2016年12月末20名、2017年6月末30名です。誰にあたる？家族会員？過去に在籍していた方？会費をどうする？月会費8,000円を下げる？など検討した結果**賛助会員制度を活用しました。**

ライオンズクラブを知っていただく為、窓口を広くしました。月会費3,000円で、まず入会。大勢の方が入会してくれました。又、嬉しいことは今まで支援してきた香川県柔道連盟・香川県腎臓病協議会の方も入会してくれたことです。皆様のお陰で、例会も奉仕活動も、にぎやかに楽しくなりました。入会してからが大切です。例会後15分間、元RC L岡信夫にクラブの歴史や先輩会員の軌跡などをお話しいただいてLCの活動を理解していただき賛助会員から正会員へ移行してもらっています。そして自分の得意な奉仕活動を選んで積極的に参加していただいています。

又、同好会の活性化もしました。カラオケ同好会では、毎月カラオケ大会を開催しています。ゴルフ同好会のメンバーも増えました。旅行同好会、グルメ同好会もみなさん楽しみにしています。

継続事業の現在

今年度、事業費146万円をお役に立てる事が出来ました。

香川県柔道連盟支援、小学生による交通安全啓蒙支援、香川大学留学生支援、香川県腎臓病協議会支援、1月8日には震災地熊本県西原村の仮設住宅にお住まいの方500名にさぬき打込うどんを食べさせて頂くことも出来ました。

補足資料

年度別新入会員数

	賛助会員	正会員
2016－2017	29名	2名
2017－2018	8名	0名
2018－2019	19名	3名

※2016年度から賛助会員制度を導入し、3年間で56名の賛助会員が入会した。
賛助会員の内、現在10名が正会員となっている。

1. 女性会員が11名増
2. 例会出席率が良くなった。以前は15名程度だったが現在は30名程度に倍増し、明るく・楽しく・賑やかな例会ができている。
3. クラブ役員の若返りができた。今期会長45歳、幹事・会計42歳。
4年前のクラブ会員平均年齢が70歳代だったが、今期は50歳代と20歳ほど若返った。
4. 新規事業が増えた。
(例)・・・子供支援、月1回の介護施設慰問を開始。
5. 会員数が増加した為、チャリティー講演会などを実施し、事業資金50万円を獲得した。
6. 40年前よりの献眼等、四献運動に対し、特にこの3年間、賛助・家族会員と一緒に啓蒙活動を活発に実施した(30か所)。
その結果、本年10月19日に第21回臓器移植推進国民大会(青森県)において、厚生労働大臣感謝状を拝受した。

2019年10月末現在

会員総数88名(正24、賛助26、優待3、名誉1、家族34)